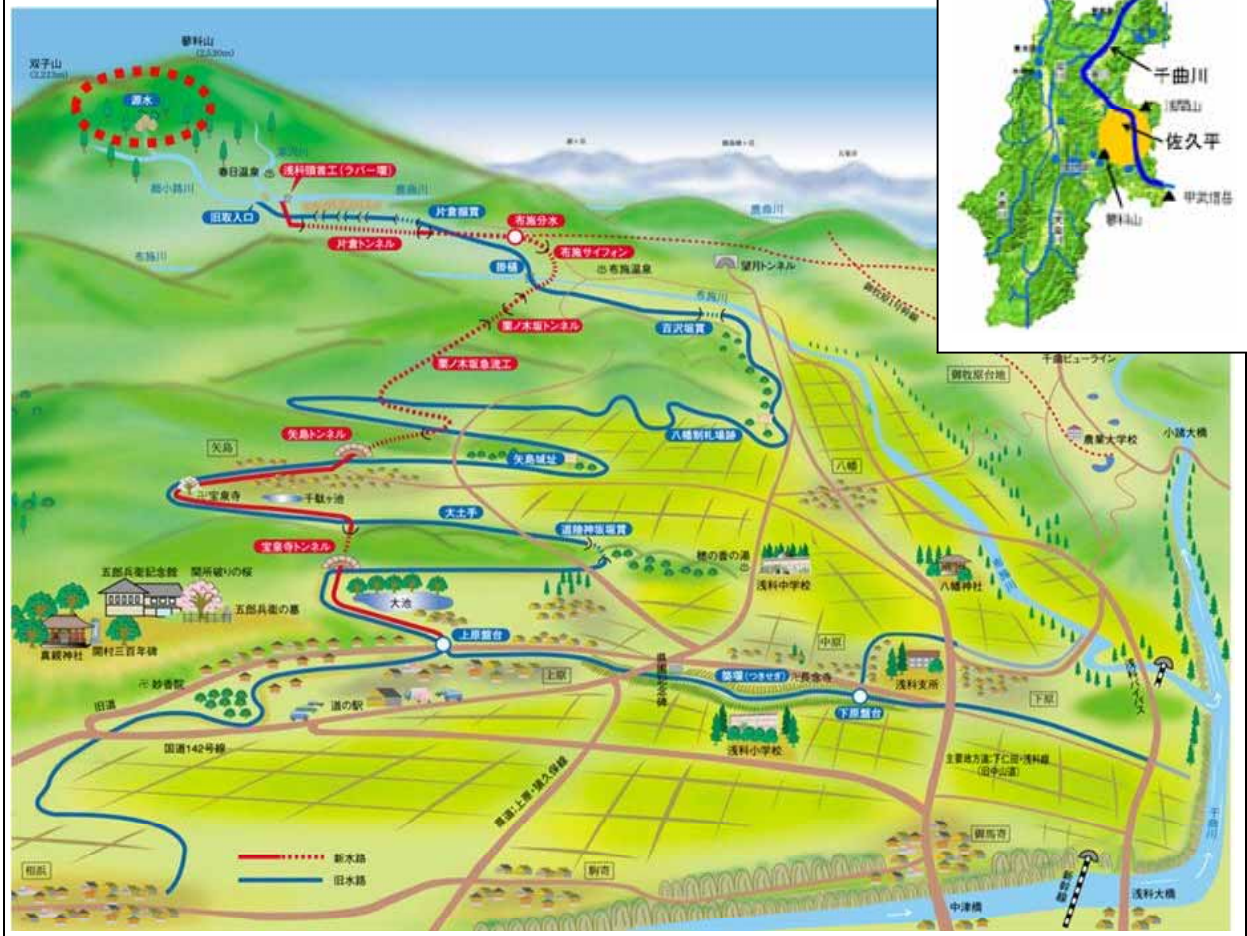


# 五郎兵衛用水水土里ネット 「歴史伝承マイスター」

## 【位置図】



## 水土里ネットの概要

### 1. 水土里ネットの概要

- ・水土里ネット名： ふりがな 五郎兵衛用水 ゴロベエヨウスイ 水土里ネット
- ・理事長名： 中澤政幸
- ・役員数： 役員 20名、職員：常勤 1名、非常勤 0名
- ・住所： 長野県佐久市甲1399浅科支所内
- ・連絡先： 電話 0267-58-2001  
FAX 0267-58-2897
- ・受益面積： 416 ha
- ・組合員数： 1,064名
- ・水土里ネット設立の経緯： 約380年前に蓼科山の山麓から全長約22キロメートルの用水路を開削し、原野を開墾して「五郎兵衛新田村」が開かれた。この村が現在の佐久市浅科の基礎となった。この用水路を開削したのが市川五郎兵衛（1571～1665）である。五郎兵衛用水水土里ネットは、昭和29年9月24日に設立認可された。設立の目的は、用水開削以来管理運営し、維持されてきた五郎兵衛用水を五郎兵衛新田村から引継ぎ、維持管理と用水改修を進めること。昭和35年5月には、御牧原農業水利事業を進めるため、大池水利組合を吸収合併して、矢島・八幡地区を編入し、昭和46年～57年県営ほ場整備事業の現地事務局を水土里ネットが担当して390haを実施し、近代化した水田となり、現在に至る。

## 2. 地域の特徴

(水土里ネットが置かれている地域の状況が把握できるよう、地域の地理、社会経済、歴史・伝統、文化、景観・自然環境などを記述してください。)

### (1) 地理

五郎兵衛用水水土里ネットの主な受益地となっている佐久市浅科(旧浅科村)は、長野県東信地区佐久平のほぼ中心に位置している。周囲をゆるやかな丘陵に囲まれ、河岸段丘上に集落・農地が形成されており、標高は600mから800mの中間地帯。夏暑く、冬は寒気の厳しい内陸性の気候で、昼夜の気温差が激しいのが特徴である。



五郎兵衛新田が眼下に広がり遠くに浅間山を望む

### (2) 社会経済

浅科地域は、水稻を主体とした農業の発展により、集落が点在し形成されている。江戸時代市川五郎兵衛が蓼科山を源水とする河川から切り開いた用水路は、改修され、現在もその一部がそのまま利用されている。五郎兵衛新田で育てられたお米は、粘土質による肥沃な農地と蓼科山の湧水を引いた水により、「五郎兵衛米」としてブランド化されている。当地区の収量は約3万俵で、政府へは農協を通じて5千俵、2万5千俵は個人売りとなっている。減反・転作はほとんど行われていない。東信濃の食堂で美味しいと言われるところは、ほとんど五郎兵衛米を使っている。

また、農家の副業として400年以上前から続く産業として「矢嶋の凍み豆腐」が挙げられる。固く水切りした手作り豆腐を7cm角、厚さ1cmに切り、屋外で一晩凍らせ、それをワラで結わえて軒先に10日間ほど吊るして乾燥させたもので、諏訪の寒天と並んで、冷え込みが厳しい地方でしか出来ない特産品である。



五郎兵衛米の実る水田



五郎兵衛米



矢嶋の凍み豆腐



### (3) 歴史・伝統文化

浅科地域には、旧中山道23番目千曲川越しの宿として栄えた塩名田宿跡、皇女和宮が降嫁の折りに宿泊した24番目の宿場八幡宿跡がある。また、戦の神として祭られた八幡神社の境内には国指定重要文化財「高良社」があり、今なお残る文化遺産は、多くの人々の心をとらえるとともに、地域の歴史を物語っている。また、五穀豊穰を願い、江戸時代中期から伝わる「鳥追い祭り」が行われているほか、妙香院、宝泉寺、市川五郎兵衛を祭る真親神社などの神社仏閣も地域住民のやすらぎの場として親しまれている



八幡宿



鳥追い祭り

### (4) 景観・自然環境

北方には浅間山が、南方には蓼科山がそびえており、両山を見渡せる格好の場所であることから、浅間山の「浅」と蓼科山の「科」をとって、かつて浅科村と名づけられた(平成17年4月より、市町村合併により佐久市となる)。北西部は御牧原台地が広がり、田園情緒あふれる風景が広がっている。南北に千曲川が流れ、昔から人々の暮らしを潤してきたが、現在でも水質は高水準に保たれ、夏にはアユ漁が行われるなど、清流を誇っている。



田園風景



アユ漁の風景

## 21創造運動取り組み体制

### 1. 水土里ネットの役員、職員及び組合員の21創造運動取り組みの意識

#### (1)「水土里ネット役員」の21創造運動取り組みの意識

平成17年の疏水百選の認定、平成19年の21世紀土地改良区創造運動関東地方大賞の受賞を通じて、改めて地域資源の大切や水土里ネットの役割の重要性を認識し、「次の五郎兵衛用水を守る世代を育てよう」という機運が高まっている。

21創造運動全国大賞受賞地区の現地視察を行い、これまで長年続けてきた活動で足りなかった点、工夫すべき点を整理し、五郎兵衛用水を次世代に引き継ぐため、より効果的な活動にしようという意識が高まり、組合員も含めた結束力が強くなった。

#### (2)「水土里ネット職員等」の21創造運動取り組みの意識

(職員のいない水土里ネットでは、配水係等の係員について回答してください。)

役員同様に、源水視察等の事務局を担当するなど、21創造運動に対する意識は高い。創造運動表彰への応募や、疏水百選などを通じて、水土里ネットのPRに積極的に取り組んでいる。

また、農地・水・環境保全向上対策や農業用水水源地域保全対策事業など、五郎兵衛用水を地域にPRするために活用できる事業導入に向けた情報収集にも積極的である。

#### (3)「水土里ネット組合員」の21創造運動取り組みの意識

(1)で記載した「源水視察」に、2年に1度、水土里ネット組合員に参加を呼びかけている。五郎兵衛用水の水源を、役員とともに見回る。参加者は130人余り(大型バス3台、マイクロバス1台)で、地域を潤す農業用水路への意識の高さがうかがえる。また、「21創造運動」が開始された平成13年度からは、浅科地区の一般住民(非農家)にも参加を呼びかけており、組合員と地域住民との交流の場にもなっている。

また、役員と同様に、疏水百選や21創造運動関東地方大賞受賞を機に、五郎兵衛用水の管理に対する意識はより一層高まり、役員改選期には自ら立候補する組合員が増えている。21創造運動に取り組むことで、役員、職員、組合員の団結力がより一層高まっている。



植樹に参加した役職員

## 21創造運動の意義性

### 1. 21創造運動に取り組むこととなった背景・きっかけ

佐久市浅科地域は、おいしいお米のとれるところとして知られているが、元々は用水の便がなかったため、雑草の生い茂る原野であった。ここに、市川五郎兵衛が用水を引いてきたことによって、水田地帯へと変わっていった。

しかし、用水路が改修され、浚渫等の維持管理作業も省力化されたことから、昔に比べて用水との関わりが減ってきており、水のありがたさや大切さを感じる機会が少なくなっている。

このため、組合員はもちろん、一般住民や子供たちに、地域を流れる農業用水の歴史・役割を伝えるため、五郎兵衛用水のPR活動に取り組むこととした。

### 2. 21創造運動に取り組むに当たって掲げた理念（理由や目的、スローガン等）

～21創造運動を通し「水土里ネットがどうなっていくべきか」思いの丈を記述してください～

（21創造運動は、内部運動と外部運動を合わせて実施していくこととなっており、これらの取り組みを組織として一体となって取り組むには、取り組む理由や目標の明確な設定が不可欠と考えています。また、「何故この運動に取り組むのか」を意識して取り組むことでより効果の高いものとなります。このため、運動に取り組むにあたっての基本理念を記述してください。）

#### （1）基本理念（スローガン：次の五郎兵衛用水を守る世代を育てよう）

五郎兵衛用水は、市川五郎兵衛が大変な苦勞を重ね、莫大な私財を投じて通水させたもので、これにより、水田が開かれ、五郎兵衛新田村が形成された。水路の開削に加え、春の用水浚い、渇水時には盗水防止の水番、雷雨による災害の復旧、秋の落水など、維持管理も大変な仕事であった。農業用水としてはもちろん、飲用水、生活用水としても使われていたため、水をきれいにすることは常に意識していた。

こうした郷土の歴史を知ることは、これからの地域づくりを考えるうえで必要不可欠であり、伝統的な行事や水路の維持管理はもちろんのこと、地域住民、特に地元の子供們に農業用水の大切さを伝える活動を通じて、次の五郎兵衛用水を守る世代を育てることを基本理念としている。



五郎兵衛用水記念館にて

#### （2）基本理念の決定機関

（該当する を に置き換えてください。）

水土里ネット総（代）会

水土里ネット理事会

水土里ネット内部（事務局レベル）



### 1. 2.1 創造運動の担当部署

(取り組み体制の実態を教えてください。「リーダー」は、活動を牽引している者を記載して下さい。)

(該当する を に置き換えてください。)

2.1 創造運動を実践していくため水土里ネット内に担当部署を設けている。

担当部署： ( 人)

リーダーの役職・氏名等：

特に担当部署は設けていないが、組織(役職員)として取り組んでいる。

職員はいないが、役員が中心となって取り組んでいる。

その他：

### 2. 将来の運動を担う後継者を育てるための工夫

(運動の継続性が求められています。それに向けた後継者を育成するためにどんな工夫をしたか「例えば、プレゼンテーション技術研修会への参加」など具体的に工夫した内容を記述してください。)

五郎兵衛用水水土里ネットでは、役員20名と職員1名で、工事、水利、維持管理、庶務、事務等の全てを執行している。特に、日常の用水維持管理や水不足時のポンプ揚水の操作、外部機関からの現地視察、イベントなどの現場での対応は理事が担当している。

近年は役員の代替りもあるため、前任役員が後任役員に対し、水土里ネットの設立経緯や、頭首工、用水路等の水利施設の日常維持管理の方法等の入念な引き継ぎを行っている。

また、職員は、主に庶務事務、経理事務等を担当しているが、現地視察やイベントの際にも役員と同行することで、研鑽を重ねている。

### 3. 人的な広がりのための工夫

これまでの活動の中で、組合員、地域住民を対象に五郎兵衛用水のPRを行ってきた。しかし、今後は次世代を担う子ども達へのPRに力を入れることとし、毎年開催しているイベント「五郎兵衛用水を歩く会」に、地元の浅科小学校の先生にも参加を呼びかけている。佐久市の小学校社会科副読本にも五郎兵衛用水が取り上げられており、イベントに参加した先生が子ども達に教えることで、授業内容の充実が期待できる。

また、水土里ネットとして、小学生を対象とした施設見学会にも新たに取り組み、子ども達が、教科書だけでなく、実際に目で見て、五郎兵衛用水の歴史や役割を体感してもらおうと心がけている。



旧隧道のノミの跡にふれて、感激

## 4 . 継続的な運動の展開

### ( 1 ) 財源状況

自主財源等を活用している場合は、該当する を に置き換えてください。(複数回答可)

予算書に活動費の項目立てをしている(理事会の議題に取り上げている)

予算には計上していないが、その都度、理事会にかけて支出している。

今後とも、自主財源を確保できる見込みである。

活動によっては、参加者から参加費用をいただいている。

(活動名: \_\_\_\_\_ 会費の額: \_\_\_\_\_ )

補助事業を活用している場合は、該当する を に置き換えてください。

補助事業の期間中は確保されている。

補助事業終了後は、自主財源から支出する予定。

補助事業の終了後は、財源は未定。

他の機関から財政的な支援を受けている場合は、該当する を に置き換えてください。

他の機関からの支援は当分の間、確保されている。

他の機関からの支援が終了した場合、自主財源から支出する予定。

他の機関からの支援が終了した場合、財源は未定。

### ( 2 ) 21創造運動を継続していくための工夫(身の丈に応じた地道で無理のない運動ですか。)

これまで、水土里ネットの自主財源で運動に取り組んできたが、平成19年度からは農地・水・環境保全向上対策、平成21年度からは農業用水水源地域保全対策事業を導入し、関係機関と連携を図りながら活動の幅を広げてきた。

地元の住民団体や消防団、そして小学校とも連携が密になり、補助事業終了後もこのネットワークを継続して効果的な活動につなげていきたい。



水源林



子ども達への啓発活動

## 5. 21創造運動の平成21年度までの実績

( 21創造運動の理念を達成するためどのような活動をしたか、また、活動の手法や取り組みの経緯(継続期間)、活動に係る経費(金額)とその財源、さらに活動の成果や地域住民の評価等の点も含めてアピールしたいことを活動毎に全て記述してください。)

### (1) 内部運動

#### 活動名： 源水視察

開始時期：昭和40年度から取り組む

活動経費： 100千円

：内訳補助金 千円(事業名： )

支援団体 千円(団体名： )

自主財源 100千円

#### 活動内容

毎年7月に、五郎兵衛用水の水源である、蓼科山の湧き水と、鹿曲川沿いに設置された春日頭首工を見学する「源水視察」を行っている。主に、水土里ネット役員を対象とした活動であるが、2年に1度は、水土里ネット組合員へも参加を呼びかけており、農業用水利施設の役割を改めて認識してもらっている。

また、「21創造運動」が始まった平成13年度からは、組合員への参加募集に併せて、浅科地域の一般住民への参加呼びかけも行っている。蓼科山の水源には、源水の碑が建立されており、萩原井泉水の「原水 水行可処(水は行くべき処へいく)」が刻まれている。またその裏には、旧布施村(佐久市)出身の歌人、清野房太の「里人の命支ふる泉湧く名もくぐりざさここに溢れて」という和歌が刻まれている。

#### 【源水視察】



源水の碑



視察の様



湧出する源水(五斗水)

これまでの成果(選考基準4 - ~ のうち、該当する項目に即して具体的に記述してください。)

昭和40年から継続して実施している活動で、地域の歴史を再認識する場でもある。役員のみを対象とした活動から、組合員、地域住民も対象とした活動へと範囲を広げてきた。

特に近年は、新任の役員(代替りした役員)への研修の場にもなっており、取り組みを継続する中で、新たな効果も出てきた。

組合員、一般住民には2年に1度参加を呼びかけているが、参加人員は100名を超えており、地域を流れる農業用水への関心の高さがうかがえる。(平成21年度の参加者135名)



今後の計画、見通し:

今後、より一層組合員の代替わりが進むことが予想され、新たな組合員、役員が地域の水田を潤す用水の源を認識する場として、今後も継続していく。

### 活動名： 流域保全活動

開始時期：平成21年度から取り組む

活動経費： 100千円

：内訳補助金 100千円（事業名：農業用水水源地域保全対策事業）

支援団体 千円（団体名： ）

自主財源 千円

#### 活動内容

五郎兵衛用水の水源は、蓼科山と双子山の間、標高1,900m付近に湧き出した源水(五斗水)であり、この水源域は約4,500haあり、そのほとんどが森林である。五郎兵衛用水の水は、源水の湧き出る良好な森林から供給されているという認識のもと、水源地域の森林整備活動を実施。水土里ネット役員と職員で下草刈を行った。

これまでの成果（選考基準4 - ~ のうち、該当する項目に即して具体的に記述してください。）

この場所は、元は五郎兵衛用水の修理に使う杭などの材料を採っていた場所であったが、近年は、手が加えられず、荒廃していた。今回の取り組みを継続することで、農業用水の保全だけでなく、森林の持つ多面的機能の保全にも寄与できるものと考えている。

今後の計画、見通し:

今後は、広葉樹の植樹(約500本)を行うなど、水源地域の森林の適切な保全・管理を継続していく予定。

#### 【流域保全活動】



下草刈の様子



森林整備の様子

# 活動名： パンフレット「五郎兵衛用水と水源林」の作成

開始時期：平成21年度から取り組む

活動経費： 511千円

：内訳補助金 511千円（事業名：農業用水水源地域保全対策事業）

支援団体 千円（団体名：）

自主財源 千円

活動内容（活動状況の写真を添付してください。）

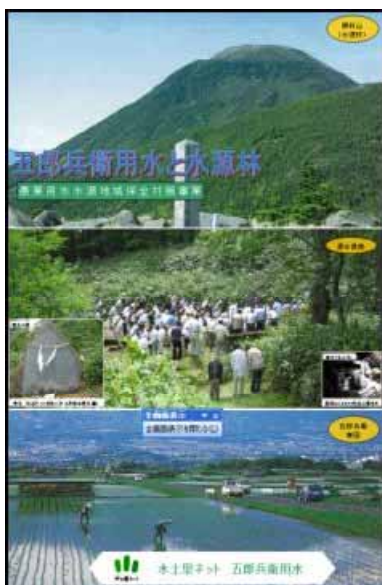
流域保全活動に併せて、五郎兵衛用水の水源から受益地末端までの幹線水路が一目でわかるパンフレットを作成。

これまでの成果（選考基準4 - ~ のうち、該当する項目に即して具体的に記述してください。）

各地区の総代に配布し、新たに水源地域の保全活動に取り組んでいることを周知した。

今後の計画、見通し：

写真や文言を工夫しながら、外部運動時に配布したい。



## (2) 外部運動

### 活動名： 五郎兵衛用水を歩く会(五郎兵衛記念館と連携した取り組み)

開始時期：平成5年度から取り組む

#### 活動内容

五郎兵衛新田の開祖である市川五郎兵衛の遺徳と、用水路の歴史を後世に伝えるため、昭和48年に旧浅科村が「五郎兵衛記念館」を設立。記念館の運営委員には、水土里ネットの役員も名を連ねており、記念館に対する水土里ネットの関わりは非常に大きい。展示品も、寛永3年(1626年)に小諸藩から市川五郎兵衛あてに出された開発許可状や、徳川家康の朱印状、正徳2年(1712年)頃に作られた用水路絵図など、用水開削に係る資料が展示されている。



五郎兵衛記念館

この記念館の行事として、平成5年から毎年8月に「五郎兵衛用水を歩く会」を開催している。なるべく多くの人に参加してもらい、用水の大切さを体験してもらうため、浅科地域全戸に開催案内をしている。また、地方新聞にも開催案内を掲載しているため、最近では、市外からの参加者も増えている。平成21年度で17回目を迎えたこのイベントは33名の地域住民が参加し、朝、浅科小学校に集合し、記念館まで水路(つきせぎ)沿いに歩き、その後、バスを乗り継いで、蓼科山、頭首工、掘り抜き跡(旧隧道)、源水などを見学。

五郎兵衛用水水土里ネット理事長と記念館職員が講師をつとめ、各見学場所で、用水の歴史や役割などを説明する。また、水土里ネット役職員は、事務局として、イベントを運営している。

水土里ネットの役割： 主催、共催、協力、

その他(組織名： )

(該当する を に置き換えてください。なお、当該活動のために組織を別途立ち上げて実施している場合は、「その他」を にして組織の概要を記載してください。)

#### 組織の概要：

連携する団体(当該活動実施に当たり連携している団体があれば、その団体の概要を記載してください。)

団体名： 五郎兵衛記念館

団体の役割： 五郎兵衛用水の開削や新田開発に関する資料(古文書等)の保管・研究・展示。

#### 視察の受け入れ等

#### 連携に当たり工夫した点

開館当時から水土里ネットとの関係が深く、五郎兵衛記念館の職員と連携しながら用水開削の歴史をPRしている。

活動経費： 30 千円

：内訳 補助金 千円(事業名： )

支援団体 30 千円(団体名： 佐久市教育委員会 )

自主財源 千円

これまでの成果(選考基準4 - ~ のうち、該当する項目に即して具体的に記述してください。)

役職員ともに、21創造運動に対する理解や認識がより深まった。平成21年度は周辺の県からも含め33名が参加。リピーターがいる一方で初めて参加する方も毎年多くいるため、その裾野は少しずつではあるが広がっている。



年度別参加者内訳（過去3年について整理してください。）

年度	外部運動に係わったスタッフの数（延べ数）							外部運動への参加者の数（延べ数）							イベント 等 開催数	
	役員	職員	組合 員	行政	JA		計	組合 員	一般	学生等				小計		計
										小	中	高				
19	1	1		10			12		39					39	1	
20	11	1		10			12		43					43	1	
21		1		10			12		33					33	1	

今後の計画、見通し：五郎兵衛用水の役割・大切さをより多くに地域住民に認識してもらうため、工夫すべき点など内容を整理しながら、今後も継続して実施していく。

### 【五郎兵衛用水を歩く会】



現地で説明を聞く参加者



つきせぎ（盛土により水路の高さを確保している）沿いを歩く

### 活動名： 小学生を対象とした五郎兵衛用水施設見学会

開始時期：平成21年度から取り組む

活動内容（活動状況の写真を添付してください。）

地域の子供たちに水の大切さを伝え、用水管理を次世代につなげてくため、地元の浅科小学校4年生を対象に施設見学会を開催した。小学生約60人を蓼科山中腹の水源や江戸時代に築かれた用水の跡などに案内し、地域の特産品である五郎兵衛米の栽培を可能にした先人の功績や用水の大切さについてPRした。見学場所は「五郎兵衛用水を歩く会」とほぼ同様だが、歩く会に参加し用水について学んだ先生が、今度は小学生に教えながら見学している。当日は、水土里ネット役員及び、長野県佐久地方事務所農地整備課職員が現地の案内を担当した。

水土里ネットの役割： 主催、共催、協力、  
その他（組織名： ）

連携する団体：なし

活動経費： 153千円  
：内訳 補助金 153千円（事業名： 農業用水水源地域保全対策事業 ）  
支援団体 千円（団体名： ）  
自主財源 千円

これまでの成果（選考基準4 - ~ のうち、該当する項目に即して具体的に記述してください。）

平成21年度から開始した新たな取り組みであるが、小学生からは「五郎兵衛用水はすごく遠い所から水を引いてきたことがわかり、感動した」、「苦労して水を引いてきたので、私たちもおいしい五郎兵衛米を食べられる」などの感想があり、用水の大切さを認識してくれたようである。この取り組みは、地元の新聞にも大きく掲載され、また、佐久市教育長からも高い評価を得た。子ども達はこの他にも、社会科学習の一貫として、受益地内の学校田で五郎兵衛米を栽培しているが、五郎兵衛用水及び水源を見学することで、新田開発の苦労や恩恵、お米づくりに寄せる思いを一層感じてもらうことが出来た。



年度別参加者内訳（過去3年について整理してください。）

年度	外部運動に係わったスタッフの数（延べ数）							外部運動への参加者の数（延べ数）						イベント 等 開催数
	役員	職員	組合員	行政	JA	計	組合員	一般	学生等			小計	計	
									小	中	高			
21	3	1		4		8	62	62				62	1	

今後の計画、見通し：補助事業の活用を通じて、次世代を担う子ども達へと啓発の対象を広げることが出来、地元小学校との関係を深めることができた。補助事業終了後も学校とのネットワークを活かしながら、継続していく予定。

【小学生を対象とした施設見学会】



旧隧道見学



源水の水を水筒に入れて持ち帰る



旧堰跡で子ども達に説明する理事長

**運動の成果**

**1. 関係機関との連携状況( )内の1から8に をつけてください。複数回答可)**

関係機関名	連携の状況	連携の内容	今後の連携の見通し	凡 例
町内会・自治会	2 3 4	6 7 8	10 11 12	連携の状況 1.積極的に連携できた 2.一定の協力が得られた 3.今回は連携できなかった 4.全くない
N P O	1 2 3	5 6 7 8	9 10 11 12	
教育機関	2 3 4	6 7 8	10 11 12	
マスコミ	2 3 4	5 6 7 8	9 10 11 12	
農 協	1 2 3	5 6 7 8	9 10 11 12	連携の内容 5.共催、協賛、後援 6.活動計画樹立の助言を得る 7.人材派遣 8.資金援助
市 町 村	2 3 4	6	10 11 12	
都道府県 水土里ネット	2 3 4	5 7 8	10 11 12	
都 道 府 県	2 3 4	6 8	10 11 12	今後の連携の見通し 9.積極的に連携していく 10.その都度協議していく 11.今後連携の可能性あり 12.全くない
国	1 2 3	5 6 7 8	9 10 11 12	
その他( )	1 2 3 4	5 6 7 8	9 10 11 12	



## 2．水土里ネットや土地改良施設の役割、それらに支えられている農業農村の多面的機能の重要性について地域住民等の理解の程度について

「五郎兵衛用水を歩く会」には、ほぼ毎年定員を上回る参加希望がある。ほとんどの参加者が、毎年違った顔ぶれであることから、この活動が地域全体に広がり、多くの人々が、五郎兵衛用水の歴史に関心を持っているのではないかと考えられる。非農家の参加者も、実際に用水開削の歴史に触れることで、土地改良施設や土地改良区が身近に感じている。昔から用水路へのゴミの不法投棄などは無く、地域の農業用水路への理解は高い。

小学生を対象とした施設見学会では、見学後、小学生が現地で学んだ内容・感想を「学級通信」として各自で新聞形式にしてまとめている。五郎兵衛用水開削の歴史について詳しくまとめられており、小学生の理解力の高さには驚くばかりである。

## 3．運動が果たす施設の管理や地域資源の保全の強化について

(施設の管理や地域資源の保全に係る行政や地域からの財政的、人的な支援等の変化について具体的に記述してください。)

「21創造運動」が開始される平成13年度以前から、源水視察等(内部運動)を通じて、施設の維持管理への意識は高い。役員総出の水路清掃に加え、毎年4月上旬に行う、地域住民も参加する地区清掃、幹線支線水路清掃も定着している。

また、農地・水・環境保全向上対策にも取り組んでおり、地域ぐるみで施設管理、保全活動がより一層進んでいる。



管理された水路

## 4．水土里ネットの地域づくりへの関わりについて

平成17年度に農林水産省から「疏水百選」に認定され、また平成19年度に21創造運動関東地方大賞を受賞したことは、水土里ネットの名前、農業用水の役割をより一層地域に浸透させる良いきっかけとなった。五郎兵衛用水の歴史や役割について、小学校教員からの問い合わせも増えたことから「五郎兵衛用水を歩く会」へ案内するようになり、これが小学生への啓発活動へとつながった。学校の授業で五郎兵衛用水を取り上げ、子どもたちへ地域の歴史を話し伝える大変有意義なことであり、今後も、こうした取り組みに協力していく。

## 5 . 農地・水・環境保全向上対策への関わりについて

### (1) 地区内の実施状況

実施地区数 1カ所

実施面積 22.7 ha

活動組織の構成

(地区選定の考え方、構成員等を記述してください。複数の地区がある場合は、代表的な地区を記述してください。)

- ・活動組織：浅科農村環境保全組合
- ・構成員：農家、矢島区、五郎兵衛用水水土里ネット、消防団、PTA、JA、寿会、矢島泉を守る会、矢島いきいき会、千駄ヶ池用水管理組合

活動の特徴(主な活動内容を記述してください。)

近年農業者の高齢化や減少により、農地の維持管理が困難な状況になっていることから、農業者と水土里ネット、PTA・消防団等の地域住民が一体となり、環境に配慮するための施設の点検・草刈及び泥上げ等を行っている。

また、施設の機能診断を行い、劣化が見受けられる個所については、コーティングで補修をするなどの取り組みも行っている。

さらには、美しい景観や生態系の保全及び生活環境の向上を図る活動として、水路や道路の景観形成を行っている。

水土里ネットの関わり(活動組織、対象地域との関わり、受益地の重複度合いを記述してください。)

本活動組織は、組合長1名、副組合長3名、会計1名、監事2名、幹事18名を置いている。対象地域全域が水土里ネットの受益地であり、五郎兵衛用水水土里ネット理事長及び監事2名が副組合長を、同水土里ネット副理事長が会計を、同水土里ネット理事1名が幹事を務めており、活動組織の中で中心的な役割を担っている。

### (2) 水土里ネットの取り組み

用水路の草刈、泥上、老朽化した部分の目地詰などの維持管理業務を行うほか、小学校PTA、小学生による生物生息調査などの環境保全活動にも取り組んでいる。



地域に生息する生物の分布や生態系の調査

## 6. 2.1 創造運動を通じた地域農業振興への取り組みについて

(水土里ネットにとって、地域農業の振興は必要不可欠な事項です。農業振興への取り組みについて記述してください。)

~該当する を に置き換えてください。~

土地利用調整	水利用調整	情報収集及び提供	直売所等への関与
営農支援	実証栽培	土づくり	環境保全型農業の推進
	営農指導	その他：	

その他：

## 7. 運動の成果のまとめと今後の展望

(運動により地域や水土里ネットがどのように変わったのか、維持管理に変化があったのか、また、今後の展望等記述してください。)

開祖市川五郎兵衛眞親翁が自費で開拓したその偉大な業績を地域社会に広めること、特に子ども達に水の大切さと先人の遺徳を伝えていくこと、また、水を大切にすることは良い森を造り育てていくということ、市有林の手入れをして植樹を行うと等、目標がしっかり定まっているので役職員の意識は高く、役員・総代の結束が非常に強く固いものになった。また、役職員が21創造運動に真剣に取り組んでいる様子を新聞報道などで知った組合員の意識も向上し、水土里ネットに対してより一層協力的になった。

維持管理については、今までどおり役員が熱心に取り組んでいる。この運動を始めたことで、水土里ネットを中心に地域全体が明るくなり、活力のある地域に変わりつつある。



将来を担う子ども達

### その他特記事項

組織というのは、しっかりとした明確な目標を立てて、いつも何かに挑戦していないと活性化せず、活力が出てこないと思っている。

絶えず目標を立てて挑戦をし、達成感を共有して喜び合い、役職員間の団結を強固にしており、事にあたっている。